

全自動尿中有形成分分析装置「UF-1500」

仕様書

1. 全自動尿中有形成分分析装置「UF-1500」については以下の要件を満たすこと

- ・ 赤血球、白血球、上皮細胞、扁平上皮細胞、円柱、細菌を定量測定できる機能を有すること。
- ・ 異常フラッグ情報として、硝子円柱、非硝子円柱、非扁平上皮細胞、酵母様真菌、結晶、精子を表示できる機能を有すること。
- ・ 赤血球形態情報、グラム染色性情報を取得できる機能を有すること。
- ・ 全自動尿中有形成分分析装置の処理能力は 60 検体/時間以上であること。
- ・ 検体吸引量は 0.68ml 以下であること。
- ・ 青色半導体レーザーを用いたフローサイトメトリーにより尿中の有形成分を測定し、赤血球、白血球、上皮細胞、扁平上皮細胞、円柱、細菌の 6 項目の定量値を表示できる機能を有すること。
- ・ スキャッタグラム、粒度分布を含む測定データを最大 1,000 検体以上記憶できる機能を有すること。
- ・ 2 濃度の精度管理試料を利用して毎日の精度管理が可能となる機能を有すること。
- ・ マニュアル測定用の吸引モードを実装すること。
- ・ 測定結果は定量的な測定をもとに/ μ L 及び/ μ L から/LPF, /HPF 等に換算されたデータを取得できる機能を有すること。
- ・ 測定結果はリアルタイムにホストコンピュータへ送信する機能を有すること。
- ・ 日々の精度管理データを全国規模の外部精度管理システムへ自動送信する機能を有すること。

以上

令和 8 年 7 月 10 日
国家公務員共済組合連合会
舞鶴共済病院